

川口地域委員会説明資料

【 目的 】

長岡市住宅政策マスタープランは、平成21年度から10年間を計画期間として、住宅政策の今後の方向性や推進すべき施策を示す計画として平成21年3月に策定しました。

このたび、平成22年3月31日の川口町の合併により、内容を一部見直し、改訂版として策定するものです。

合併により広がった新長岡市の各地域の特性を踏まえた、長岡らしい質の高い住生活を支える住まい・まちの実現を目指しています。

【 経過 】

平成19年9月18日	業務委託契約	委託先	ランドブレイン株式会社
平成19年11月	市民アンケート実施	5000世帯	回収率 52%
	その他現況調査実施		
平成20年2月12日	長岡市住宅政策マスタープラン策定委員会設置		
	第1回策定委員会（発足、課題提起）		
平成20年4月19日	第2回策定委員会（住宅を取り巻く課題）		
平成20年8月7日	第3回策定委員会（基本理念、基本目標等施策の体系）		
平成20年11月11日	第4回策定委員会（施策の検討、素案）		
平成21年2月23日	第5回策定委員会（マスタープラン（案）承認）		
平成21年3月2日	市長答申		
平成22年度	合併により川口地域を含めた計画として改訂版作成 （資料収集、現地調査、地域ヒアリング等）		

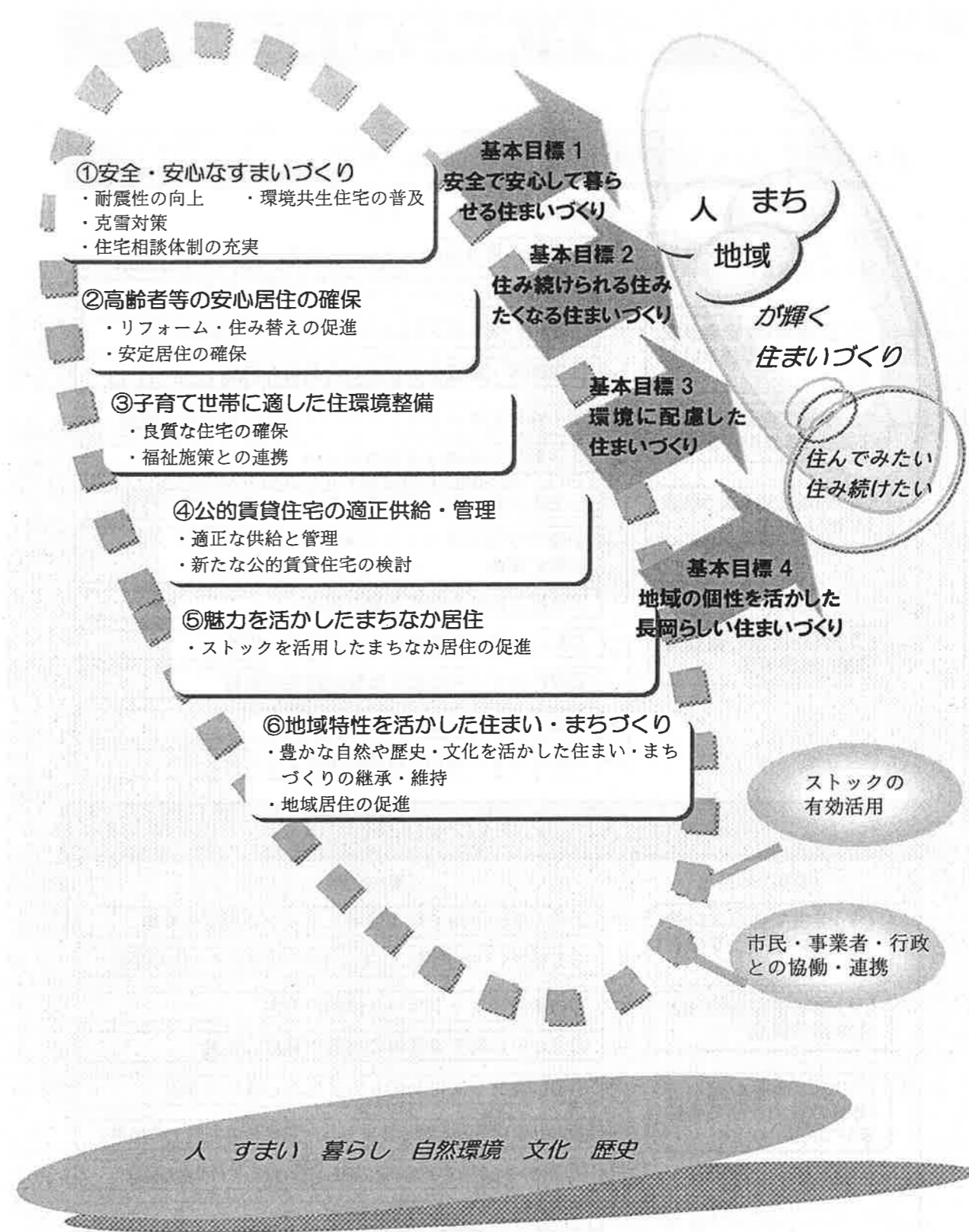
【 内容 】

- 基本理念
- ① 住生活・住宅ストックの質の向上を図ります。
  - ② 「長岡」の特性・魅力を活かします。
  - ③ 長岡市の将来像（長岡市総合計画）の実現を担います。

- 基本目標
- ① 安全で安心して暮らせる住まいづくり
  - ② 住み続けられる住みたくなる住まいづくり
  - ③ 環境に配慮した住まいづくり
  - ④ 地域の個性を活かした長岡らしい住まいづくり
- ※施策の体系は裏面

- 特徴
- 「地域特性を活かした住まいづくりの推進」
  - 「シティホールを核としたまちなか居住の推進」

人・まち・地域が輝く住まいづくり



# 第3章 施策の展開

## 1. 施策体系

### 基本理念 人・まち・地域が輝く住まいづくり

#### 基本目標1 安全で安心して暮らせる住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

- (1)日本一災害に強いまちを目指した住まいづくり
  - ①災害に強い住まいづくりの促進
  - ②地域の防災力向上に向けた活動等の促進
- (2)高齢者・障害者が安心して暮らせる住まいづくり
  - ①高齢者・障害者が住み続けられる住まいの改善等の促進
  - ②高齢者・障害者の安定した居住の確保
- (3)子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくり
  - ①子育て世帯が暮らしやすい良質な住宅供給の促進
  - ②子育て世帯向け住情報の提供
- (4)地域で支えあう住まいづくり
  - ①宅地開発における居住者コミュニティ形成の促進
  - ②住宅や住環境づくりに関わるNPOやボランティア活動の促進
  - ③地域における防犯活動の促進
- (5)公的住宅の適切な供給と維持管理
  - ①真に困窮する世帯への公営住宅の供給
  - ②市民のニーズに応じた公的住宅の供給
  - ③まちづくりと連携した住宅の供給
  - ④既存住宅の適切な維持管理による有効活用

#### 基本目標2 住み続けられる住みたくなる住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

- (1)良質で住みよい住宅地・住宅ストックの供給
  - ①長く有効活用できる住宅ストックの形成の促進
  - ②まちづくりと連携したユニバーサルデザイン化の促進
- (2)住宅情報の提供と住意識の啓発
  - ①住宅相談ネットワーク体制の充実
  - ②住まいに関する情報の発信や意識の啓発
- (3)地域の中心的な市街地の魅力を高める住まいづくり
  - ①多様なニーズに対応したまちなか居住の促進
  - ②大手通り周辺におけるまちなか居住の魅力向上の推進
  - ③地域の中心的な市街地の魅力的な居住地としての再生の促進
  - ④良好なまちなみ形成の誘導
- (4)多様なライフスタイルに応じた住まいづくり
  - ①市場を通じたリフォームの促進
  - ②空き家の有効活用の検討
  - ③多様な住まいや住まい方の普及に向けた支援

#### 基本目標3 環境に配慮した住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

- (1)地球環境にやさしい住まいづくり
  - ①住まいの省エネ・環境共生の促進
  - ②住宅の長寿命化の促進
- (2)資源の有効活用による住まいづくり
  - ①地域で産出される木材の活用の促進
  - ②再生品や再生可能な建築資材等の利用促進

#### 基本目標4 地域の個性を活かした長岡らしい住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

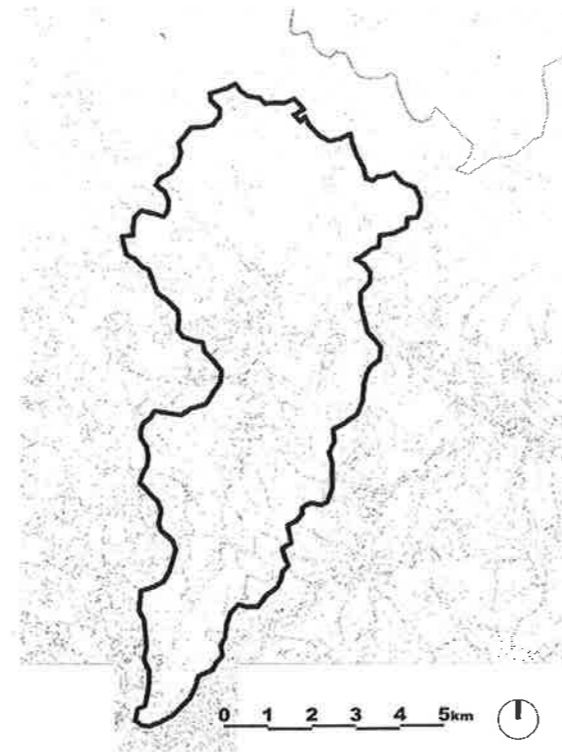
- (1)雪と共生した住まいづくり
  - ①住環境や世帯構成に応じた克雪住宅の普及促進
  - ②快適な歩行空間の確保
  - ③除雪が困難な世帯への支援の促進
- (2)豊かな自然や歴史・文化を継承した住まいづくり
  - ①歴史や文化等、地域の魅力を活かした暮らし方や住まいづくりの促進
  - ②良好な景観保全や景観形成の取組みの促進
  - ③地域の気候、風土に合った住宅・住環境づくりの継承と普及促進
  - ④農山村集落の魅力を活かした住まいづくりの促進
- (3)市民協働による住まいづくり
  - ①地域で行うまちなみ整備や克雪対策の促進
  - ②市民協働による住宅・住環境づくりの促進

## 川口地域

### ●広域位置図



### ●地域図



### ●地域の特性

山古志地域の南側に位置し、大河信濃川と清流魚野川が交わる緑の豊かな地域となっている。温泉や運動公園、やな場など魅力的な施設が充実している。

### ●住宅・住環境に関わる特性

#### 〈世帯特性〉

・中越地震後を期に地域外の子供世帯の所などへ移転した高齢者世帯がいる。

#### 〈住宅特性〉

- ・民間の借家は少なく、約8割が持ち家になっている。
- ・中越地震により、約8割の家屋が全半壊したが、現在は社会基盤も含め復旧されている。
- ・借地に住宅を建てている人が多く、建替えを期に他の場所に移る世帯がいる。
- ・高齢者の単身世帯は、跡継ぎが地域外に居住しているケースが多く、後々空き家になってしまう可能性がある。

#### 〈雪対策〉

- ・県内有数の豪雪地帯で、雪下ろしが一番の課題になっている。
- ・昔からある家は家と家の間隔が狭く、雪を下ろす場所がないため、融雪式の屋根への改良が望まれている。

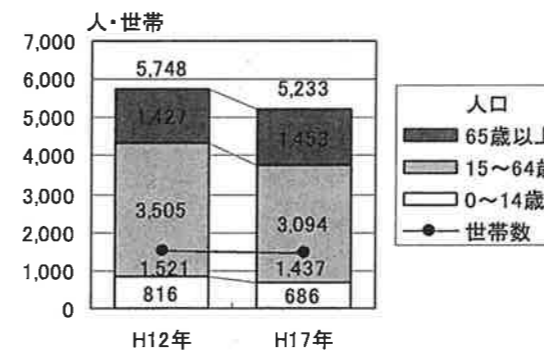
#### 〈要望・その他〉

- ・中越地震後、集落の再生と活性化に向け、各地区で住民団体が立ち上がり、さまざまな地域資源を活用して、賑わいの創出や交流の促進などに取り組んでいる。
- ・スポーツレクリエーション施設、温泉施設や日本古来の伝統的河川漁法で知られる川口やな場などには、年間約20万人の利用者が訪れ、観光・交流の資源として重要な役割を担っている。

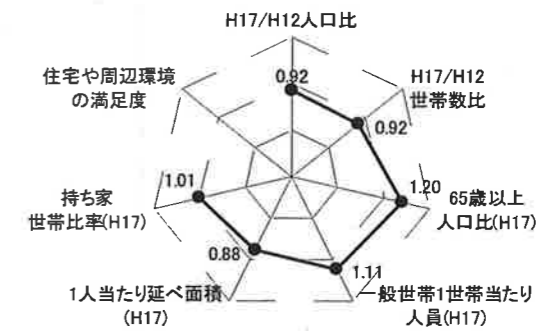
- ・川口に住むことに愛着を感じている人が増えてくれば、その気持ちが子供たちにも伝わって住み続けてくれる可能性も生まれる。
- ・住民に対し、地域づくりに関するより多くのアイデアや様々な制度などの情報発信を行う必要がある。
- ・克雪住宅の補助金、地域内の多くの人に知られていて利用希望も寄せられているが、もっと利用しやすい制度であって欲しいという声がある。

### ●地域に関するデータ

■年齢3区別人口・世帯数の推移



■人口・世帯数等の長岡市平均との比較



(グラフは長岡市全域数値を1とした時の割合を示す)  
※「住宅や周辺環境の満足度」は合併前の市民アンケートのため、データなしになっている。

### ●地域の住環境

よってけてえふれあい市



市営西川口住宅

